

I. 総括研究報告

がん検診受診率の妥当性評価のための研究	-----	1
---------------------	-------	---

中山 富雄

II. 分担研究報告

1. がん検診受診率の妥当性評価のための郵送調査	-----	6
--------------------------	-------	---

中山 富雄

- (資料) 表 1 研究参加者の背景情報
- (資料) 表 2 粗集計の解析結果
- (資料) 表 3 受診した医療機関に関わらず感度が一定と仮定したとき (仮定 1) の、各がん種における評価指標の変動範囲
- (資料) 表 4 質問票の偽陽性率に JPHC-NEXT の結果を外挿したとき (仮定 2) の、各がん種における評価指標の点推定値と 95%信頼区間
- (資料) 表 5 仮定 1, 2 から得られた感度・特異度を令和 4 年の国民生活基礎調査に外挿した時に得られる真の受診率の推計値と実測値の比較
- (資料) 図 1 研究対象者の層別抽出法とその構成の模式図
- (資料) 図 2 本研究で用いた質問票 (A4 1 枚片面印刷)
- (資料) 図 3 粗解析、追加解析で求めている各種評価指標を算出する際の概念図
- (資料) 図 4 研究参加者抽出のフローチャート
- (資料) 図 5 追加解析の結果
- (資料) 図 6 感度と特異度が真の受診率と報告値との乖離に与える真の受診率別の影響

2. がん検診受診率の妥当性評価のための Web 調査	-----	19
-----------------------------	-------	----

中山 富雄

- (資料) 表 1. 研究対象者の背景情報の分布
- (資料) 表 2. 自己申告による検診受診率
- (資料) 表 3. がん種別の受検した検査項目
- (資料) 表 4. 各がん種における推奨検査受診の多変量ロジスティック回帰分析結果 (OR、95%信頼区間、P 値)

3. 職域でのがん検診受診率について	-----	29
--------------------	-------	----

立道 昌幸

- (資料) 図1 全衛連加盟健診機関におけるがん検診実績推移 (全数)
- (資料) 図2 全衛連加盟健診機関におけるがん検診実績推移 (がん種別)

4. がん検診受診率を正確に把握するため、国民生活基礎調査の設問内容を検証する	---	32
---	-----	----

松田 一夫

- (資料) 図1 国民生活基礎調査によるがん検診に関する設問 (2013年)
- (資料) 図2 国民生活基礎調査によるがん検診に関する設問 (2016年、2019年、2022年、2025年)
- (資料) 表1 2022年における国民生活基礎調査と地域・職域全数調査 (福井県) による受診率の違い (肺・大腸・胃は男女計)

5. がん検診受診率の推計に関する研究	-----	37
---------------------	-------	----

伊藤 ゆり, 福井 敬祐, 片野田 耕太

- (資料) 表1 胃がん検診類似行為

- (資料) 表2 大腸がん検診類似行為
- (資料) 表3 肺がん検診類似行為
- (資料) 表4 子宮頸がん検診類似行為
- (資料) 表5 乳がん検診類似行為
- (資料) 表6 乳がん検診類似行為 (乳腺炎等の疾患の条件を追加)
- (資料) 表7 乳がん検診類似行為
(超音波検査を含めないマンモグラフィー検査だけの推計値)

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 43